

平成 15 年 3 月期第 1 四半期の連結業績等の概況

会 社 名 株式会社エフアンドエム
 (コード番号 4771 NJ)
 本 社 大阪府吹田市江坂町 1-23-38
 代表者名 代表取締役 森中一郎
 問い合わせ先 取締役管理本部長 杉浦友泰
 TEL 06-6339-7177

1. 連結業績

(注) 1. 記載金額は単位未満株を切捨てて表示しております。

2. 当四半期に係る数値について、公認会計士又は監査法人の監査を受けておりません。

3. 当四半期における連結子会社は 2 社、持分法適用会社は 1 社であります。

(1) 平成 15 年 3 月期第 1 四半期(平成 14 年 4 月 1 日～平成 14 年 6 月 30 日)の連結業績

	15 年 3 月期第 1 四半期 (当四半期)	対前年同期 増減率	14 年 3 月期第 1 四半期 (前年同四半期)	参 考 前期(通期)
売 上 高	785 百万円	14.1%	914 百万円	3,733 百万円
営 業 利 益	62	-	77	97
経 常 利 益	65	-	70	82

(2) 部門別の売上高内訳

	15 年 3 月期第 1 四半期 (当四半期)		対前年同期 増減率	14 年 3 月期第 1 四半期 (前年同四半期)		参 考 前期(通期)	
	金 額	構成比		金 額	構成比	金額	構成比
アウトソーシング 事 業	百万円 315	% 40.2	% 42.8	百万円 551	% 60.3	百万円 1,918	% 51.3
エフアンドエムクラブ 事 業	412	52.5	32.9	310	33.9	1,429	38.3
不 動 産 事 業	35	4.5	0.4	35	3.9	145	3.9
そ の 他 事 業	21	2.8	22.8	17	1.9	240	6.5
合 計	785	100.0	14.1	914	100.0	3,733	100.0

(3) 主な資産・負債の変動について

項 目	15 年 3 月期第 1 四半期	増減額	前期末
(資 産)	百万円	百万円	百万円
現金及び預金	136	370	507
受取手形及び売掛金	778	93	684
(負 債)			
短期借入金	721	123	598
長期借入金	1,707	133	1,841

(注) 1. 項目ごとの変動額が総資産の 1%を超えるものを記載しております。

2. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

3. この報告における数値については、公認会計士又は監査法人の監査を受けておりません。

【ご参考】前四半期連結実績（平成 14 年 3 月度第 4 四半期）との比較

	15 年 3 月期第 1 四半期 (当四半期)	対前四半期 増減率	14 年 3 月期第 4 四半期 (前四半期)
売上高	785 百万円	13.3 %	906 百万円
営業利益	62	56.3	142
経常利益	65	35.0	100

(4) 第 1 四半期の単体業績

平成 15 年 3 月期第 1 四半期（平成 14 年 4 月 1 日～平成 14 年 6 月 30 日）の単体業績

	15 年 3 月期第 1 四半期 (当四半期)	対前年同期 増減率	14 年 3 月期第 1 四半期 (前年同四半期)	参 考 前期(通期)
売上高	766 百万円	15.5 %	907 百万円	3,562 百万円
営業利益	8	-	89	138
経常利益	4	-	89	155

【ご参考】前四半期単体実績（平成 14 年 3 月度第 4 四半期）との比較

	15 年 3 月期第 1 四半期 (当四半期)	対前四半期 増減率	14 年 3 月期第 4 四半期 (前四半期)
売上高	766 百万円	0.5 %	770 百万円
営業利益	8	96.3	216
経常利益	4	98.2	227

2. 連結業績の概況

(1) アウトソーシング事業

生命保険会社営業職員向けサービスについて

当四半期の記帳代行サービスのにつきましては、前期より急増した解約がやや落ち着いたものの、生命保険会社退職にともなう解約が断続的に発生するなど、引き続き厳しい状況が続いてまいりました。このような状況で当社は営業活動を強化するとともに、生保営業職員向け営業サポートツール「エフアンドエムメイトパック」(以下メイトパック)の営業を推進し、付加サービスの創出による記帳代行サービスとの相乗効果に努めてまいりました。この結果、当四半期の記帳代行サービスによる売上高は 289 百万円(前年同期比 47.5%減)、当四半期末(平成 14 年 6 月 30 日)アウトソーシング会員数は 33,118 人(前期末比 607 人減)、内記帳代行会員数は 31,569 人、メイトパック会員数は 6,194 人となり、メイトパックによる売上高は 25 百万円となりました。

今後の取り組みと致しましては、記帳処理システムを更に強化し、会員に対しより正確な記帳処理を徹底することで、同業界での支持を得ることに努めてまいります。また、加えて本業支援的サービスとの相乗効果を訴求することで、顧客数の減少を回避し同事業の収益の安定化に努めてまいり所存であります。

その他個人事業主向けサービスについて

前期より準備を進めてまいりました、不動産所得者向け記帳代行サービスは、今期に入り、提携関連会社及びエンドユーザーへの当社からのプロモート活動が予定通り進まなかったことから、当四半期では収益事業として立ち上がるまでしばらく時間を要する状況でありました。また、その他個人事業主及び中小法人向け記帳代行への営業活動も当四半期での主だった成果を得るに至らない結果となりました。

今後の取り組みとしましては、不動産所得者向けのプロモート活動を強化し顧客数増加に弾みをつけることで、同事業の収益貢献を急ぐとともに、将来を見据えて、大きなマーケットとなり得る個人事業主及び中小法人に向けた記帳代行体制を固めることに努めてまいり所存であります。

(2) エフアンドエムクラブ事業

会員事業について

エフアンドエムクラブ会員事業の当四半期の取り組みとしましては、会員企業に対して当社のサービスラインアップを浸透させ、顧客満足を図るとともに、従来のサービスに付加する目的で、様々な商材の提案活動を実施することで収益向上に努めてまいりました。またエフアンドエムクラブ販売代理店制度を取り入れるなど、会員企業数の増加を図ってまいりました。しかしながら、景況感の底這い状況が続く中、中小企業を取り巻く状況も厳しく、代理店制度等の営業体制強化の再構築を迫られることとなり、当四半期末(14年6月30日)の会員企業数は5,245社(前期末比207社減)となりました。

その結果、当四半期でのエフアンドエムクラブ会員事業における売上高は314百万円(前年同期比4百万円増)となりました。

今後の取り組みとしましては、人員配置等の営業体制の再構築を進めるとともに、生命保険会社等の紹介ルート確立及び代理店制度を軌道に乗せることで、会員企業数の再増加に努めてまいり所存であります。

ISO支援事業について

前年度下半期から開始しましたISO取得支援事業では、生命保険会社とのタイアップによるISOセミナーの実施及び昨年来ISO認証取得にお取り組み頂いた既存顧客からの紹介営業を強化することで、販売体制の確立に努めてまいりました。これらの取り組みの結果、当四半期における売上高は63百万円(前年度通期81百万円)となりました。

今後の当事業の取り組みとしましては、価格・利便性等の当社の強みを最大の訴求ポイントとし、折から高まる中小企業のISO取得ニーズの取り込みを急ぐとともに、エフアンドエムクラブ会員事業での総務コンサルティングサービスにISO取得に必要な管理要素を織り込むなど相乗効果を企図し、ISO取得ニーズの掘り起こしに注力することで、当社の主力事業にすべく、努めてまいり所存であります。

イーキャリア事業について

当四半期におけるイーキャリア事業の取り組みといたしましては、新規顧客獲得に加え、既存顧客よりのリピート受注が増加した結果、当四半期の売上高は13百万円(前年度通期29百万円)となりました。

(3) その他事業

不動産事業について

当四半期の不動産事業における売上高は35百万円となりました。

なお、当事業での売上高は当社大阪本社が所在する、自社保有物件からの賃貸収入であります。

その他売上について

当四半期におけるその他の売上等につきましては、連結子会社株式会社 中小企業エムアンドエーセンター（当社 80%出資）、エフアンドエムネット株式会社（当社 80%出資）、持分法適用会社チャレンジャー・グレイ・クリスマス株式会社（当社 29.7%出資）の売上等によるものでございます。

（４）営業利益及び経常利益について

営業利益は 62 百万円、経常利益は 65 百万円となりました。連結子会社エフアンドエムネット（株）（株）中小企業 M&A センターにおいて、売上高が伸び悩み、販管費等の増加を吸収できなかったことで、連結での営業利益及び経常利益を押し下げる要因となりました。

（注）売上総利益並びに販売費及び一般管理費につきましては、今期より費用等に関する会計区分を大幅に変更しておりますので、過去比較の参考資料として相当ではないとの判断から、記載を省略しております。

3. 当期の見通し

（１）15年3月期の連結業績予想（平成14年 4月 1日～平成 15年 3月 31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	1,794	107	65
通期	4,097	406	230

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 19,306 円 71 銭

（２）15年3月期の単体業績予想（平成 14年 4月 1日～平成 15年 3月 31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金		
				中間	期末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
中間期	1,679	80	38	0 00		
通期	3,767	283	145		4,000 00	4,000 00

（参考）1株当たり予想当期純利益(通期) 12,160 円 94 銭

上記予測は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことはお差し控え下さい。

4. その他

（１）発行済株式数、資本金等の状況

商法第 280 条ノ 20 ならびに商法第 280 条ノ 21 の規定に基づき、平成 14 年 6 月 27 日開催の第 12 期定時株主総会において決議された新株予約権（ストックオプション）は次のとおりです。なお、新株予約権 1 個あたりの株式数は 1 株であります。

発行株式の種類	新株予約権の数	行使価格	資本組入額	権利行使期間	権利行使についての条件
普通株式	377 個	187,700 円	93,850 円	平成 15 年 7 月 1 日から平成 18 年 6 月 30 日まで	定時株主総会決議及び取締役会決議に基づき、当社と割当対象者との間で締結する「新株予約権割当契約書」に定めるものとする。

(注)新株予約権の数にしましては、株主総会決議で400個の発行枠の承認を得ておりますが、平成14年7月15日開催の当社取締役会において決議された377個を記載しております。

(2) 役員の異動

非常勤監査役小松健男が平成14年6月27日開催の定時株主総会において新に選任され、就任いたしました。

非常勤監査役福島正己は平成14年6月27日開催の定時株主総会終結の時をもって辞任いたしました。

以上